

指標① 陸上輸送のボトルネック箇所を削減する

（１）指標の考え方

地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と防災拠点とを相互に連絡する道路として緊急輸送路がある。25年度当初、静岡県の緊急輸送路上の3橋について整備未完了であった。緊急輸送路としての機能を向上させるため、ボトルネック箇所を削減するという指標を設定した。

（２）指標の対象

田子の浦港埠頭間を結ぶ緊急輸送路である臨港道路7号線上に位置する田子の浦橋、清水港を縦断する緊急輸送路である袖師臨港道路上に位置する崇徳橋及び清見橋を対象としている。

（３）指標の達成状況

平成29年度末の最終実績値は2箇所（残）であり、目標値（1箇所（残））には至らなかったが、田子の浦港臨港道路において緊急輸送路としての機能を向上させることができた。

計画の成果目標	定量的指標			
	H25当初現況	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
陸上輸送のボトルネック箇所を削減	3箇所(残)	1箇所(残)	2箇所(残)	50%

指標② 震災時に活用できる緑地の整備率を増加させる

(1) 指標の考え方

港湾における緑地、海浜等を整備することにより、臨港地区就業者のための快適な就労環境の確保や港湾を訪れる市民等に関わられたウォーターフロントの形成を図るとともに、震災時において避難地・防災拠点として機能するオープンスペースの確保のため緑地の整備を行っている。静岡県地域防災計画において、清水港は災害時等に県外から海上輸送される緊急物資を荷揚げする防災拠点港湾に位置付けられている。このため、清水港の耐震強化岸壁の背後において震災時に活用できる緑地の整備率の向上を指標として設定した。

(2) 指標の対象

防災拠点港湾である清水港における防災緑地の整備率の向上を対象としている。

(3) 指標の達成状況

平成29年度末の最終実績値は54.3%であり、目標値（59.9%）には至らなかったが、震災時に避難地・防災拠点として機能するオープンスペースの確保が図られた。

計画の成果目標	定量的指標			
	H25当初	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
震災時に活用できる緑地の整備率の増加	29.0% (3.92ha/13.50ha)	59.9% (8.09ha/13.50ha)	54.3% (7.34ha/13.50ha)	81.9%

指標③ 施設の利便性・安全性を向上させるため、改良・補修の整備率を向上させる

(1) 指標の考え方

港湾施設は高度経済成長期を中心に集中的に整備されたため、急速に老朽化が進行している。老朽化によって構造性能が低下し、必要な性能が満足できていない施設もみられる現状である。その状況の中、既存施設を有効活用しつつ、港湾の高度な利用や利便性の向上を図るため、改良・補修の整備率を向上させるという指標を設定した。

(2) 指標の対象

統合補助事業計画に基づき、老朽化し利用効率の低下した施設を対象としている。

(3) 指標の達成状況

平成29年度末の最終実績値は47.1%であり、目標値（58.8%）には至らなかったが、岸壁整備を促進したことにより、荷役の安全性・利便性の確保が図られた。

計画の成果目標	定量的指標			
	H25当初現況	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
改修・補修の整備率を向上	36.3% (37/102)	58.8% (60/102)	46.1% (47/102)	43.6%

[整備完了施設箇所数／計画施設箇所数]

指標④ 主要施設の長寿命化策定率を向上させる

(1) 指標の考え方

老朽化した施設が増加する一方、維持管理、更新、修繕に充当できる財源には限りがある。従来の事後的な維持管理から予防保全型の維持管理に転換することで、将来的に必要となる維持管理費の縮減及び各年の維持管理費用の平準化を図ることができる。そのため、主要施設の長寿命化策定率を向上させるという指標を設定した。

(2) 指標の対象

外郭施設、係留施設及び臨港交通施設のうち補助対象の施設を対象としている。

(3) 指標の達成状況

平成29年度末の最終実績値は97.5%であり、目標値（100%）には至らなかったが、未策定施設（10施設）については、廃止・統合する計画としたため策定を見送っている。

計画の成果目標	定量的指標			
	H25当初現況	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
主要施設の長寿命化策定率を向上	92.7% (368/397)	100% (397/397)	97.5% (387/397)	65.8%

[策定箇所数／未策定箇所数]

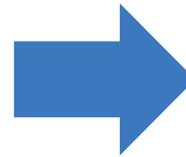
(4) 指標に関連する実施事例

1-A1-4 (道路改良工 (橋梁取合護岸))

港湾改修事業 (重要)

(田子の浦港 中央地区)

●着手前



●対策後



(4) 指標に関連する実施事例

番号-1-A1-3 (防災緑地整備)

緑地等施設整備事業

(清水港 新興津地区)

●着手前



●対策後



(4) 指標に関連する実施事例

1-A1-17 (防舷材改良)

防災・安全 (統合補助)

(御前崎港 女岩地区)

●着手前



●対策後



(5) 今後の方針

引き続き、老朽化した施設の利便性・安全性を向上させるため、安全な港づくりに取り組んでいく。